



山梨大学 地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

平成27年4月28日
国立大学法人 山梨大学

平成27年度事業計画：現場巡視システム

【事業の概要】

河川堤防や斜面の状況をスマートフォンを用いて的確かつ容易に報告することによって、市町村の避難判断支援を可能とする現場巡視システムを構築する。

- (1) 対象とする市町村は、甲府市、南アルプス市、市川三郷町、新潟県見附市など。
- (2) 変状を判断する客観的評価指標の抽出。
- (3) 評価指標を用いた危険度レベルの設定。
- (4) 危険度レベルを用いた避難判断基準の検討。
- (5) JACICの研究助成事業に採択済み。
- (6) 新潟県見附市では消防団による現場巡視、報告実験を実施。
- (7) 平成26年度からの継続事業。

【センター内での役割分担】

- (1) 県庁の役割：河川管理者として取り組みに協力（県土整備部治水課）、現場巡視報告の共有（県土整備部砂防課）、県の災害情報共有（防災危機管理課）
- (2) 市町の役割：避難情報を発令する機関として参画する。消防団、住民との調整等。
- (3) 国交省の役割：一級河川の管理者として取り組みに協力。実証実験に参加。
- (4) 大学の役割：住民、行政への意識づけ、実証実験の企画、実施、評価。

河川巡視に基づいた急流河川の氾濫危険度 評価基準の構築と運用に関する研究



図 JACIC への研究申請



写真 スマホを用いた現場巡視（見附市）